



# 福島中だより

令和7年度  
福島中学校学校通信  
7月25日(金)  
第4号

【重点教育目標】 認め合い、支え合い、未来を切り拓く生徒の育成(3年目)  
【生徒会スローガン】 日 笑 (にっしょう)

## 成長した生徒 夏休みに願うこと

福島町立福島中学校長 助 川 剛

毎日、暑い日々が続いております。強い日差しと海からの湿った風に夏本番を感じるこの頃です。令和7年度福島中学校の教育活動が4月に始まってから、早いもので約4か月が過ぎました。その期間に福中体育祭、中体連大会、生徒会・委員会活動、各授業等で、生徒の皆さんが「やるべきことをやるべき時に」今もてる力を出し切って取り組んだことで、一人ひとりが成長していると感じます。さて、明日から30日間の夏休みです。夏休みでの過ごし方で大きく2つの願いを生徒に伝えました。

### 1つ目の願い：「夏休みの課題をやり切ること」

今年は「やるべきことをやるべき時に」できるようにしていこうという話をことあるごとに行っています。中学校の時期(やるべき時)にやるべきことはなにか。いろいろありますが、最大のやるべきことは義務教育から卒業したあとの準備をするということです。全学年に共通です。

義務教育後の準備で夏休みにやるべきことは、夏休みの課題を最後まで取り組むことです。理由は将来、自分がやるべきことを、やりきることができる力が必要になるからです。

高等学校への進学後は、学習課題や仕事に取り組んで、提出する、得点などの成果や結果を残すことが進級、卒業の条件になります。授業を休まず受けることも結果として必要です。やるべきことを必ずする。その習慣と力を身につけてください。将来、どんな仕事についても、自分が担当する仕事を最後までやり切る力は必要です。一人で取り組むのが難しかったら、先生方や友人に相談してください。まずはやり切って提出等をしてください。

### 2つ目の願い：「無事に夏休みを過ごし8月25日に登校してくること」

いつもは熱中症、交通事故、水難事故に遭わないようにという話をしていました。もちろんそれらについても、いつもの通り願いとして変わりませんが、今年の夏休みはヒグマ被害に遭わない、ヒグマに十分注意することをくわえて生徒に話しました。

ヒグマ警報がヒグマ注意報になりましたが、ヒグマに対しての対策が十分なされ、安全であるとの確認ができるまでは、部活動などで学校に登下校する場合は、自家用車でのご送迎をお願いします。特にヒグマの目撃情報が多かった、周囲が暗くなる時間帯にお子様だけで行動することを避けてください。

ヒグマ被害については、いつ安全が確保できるかは見通せていない状況で、ヒグマへの怖さ、普段できていたことが出来ない不便さがあるので、お子様の気持ちがスッキリしないことがあると思います。しかし、一番大切なのは安全です。先程話した行動に関してのことは、十分気をつけていただきたいと思います。



ご不明な点や相談等がありましたら、学校へ連絡してください。  
事件事故なく皆さんに8月25日に会えるのを願っています。  
では、よい夏休みを！

# 何よりも命を大切に、安全に気をつけて過ごしましょう

## 各種相談窓口で、みなさんの不安や悩みを聞いてくれます

厚生労働省と警察庁は令和6年に自殺した全国の小中高生が前年より14人多い527人(暫定値)に上り、過去最多だったと発表しました。コロナ禍以降、高止まりしている状態です。あなたの悩みを聴いてくれたり、相談にのってくれる存在は重要です。家族や友人、先生方などあなたの気持ちを受け止めてくれる人はたくさんいます。下記の窓口も、みなさんの心の苦しみに寄り添ってくれます。

相談窓口名称	受付	電話番号・メールアドレス
子どもの相談支援センター	毎日 24 時間対応	0120-3882-56 Sodan-center@hokkaido-c.ed.jp
児童相談所虐待ダイヤル	毎日 24 時間対応	189 (いちはやく)
少年相談 110 番	平日 8:45~17:30	0120-677-110
チャイルドライン	毎日 16:00~21:00 (12/29~1/3 除く)	0120-99-7777
子どもの人権 110 番	平日 8:30~17:15	0120-007-110
北海道いのちの電話	毎日 24 時間対応	011-231-4343

<p>ほっかいどうこどもライン相談 月曜のみ 17:00~22:00</p>		<p>親子のための相談 LINE 平日 9:00~17:00</p>	
--	---	--	---

## 水泳指導 & 水難事故防止講習

福島町文化・スポーツ振興アドバイザー宇田 快<sup>うだ やすし</sup>氏と、女性で初めて津軽海峡横断遠泳を成し遂げた尾迫 千恵子<sup>おさこ ちえこ</sup>氏を講師にお招きし、溺れた時の対処法等を体験する水難事故防止講習を1年生対象に行いました。万一の場面で、自分の命を守る技術習得はとても大切なものです。生徒たちは、真剣に講習に耳を傾けていました。



